順位	質問者	質	問	事 項	要	田区	質問	の相手
1	遠山 勝也	1 硬度 いて	度低減化施設	改建設計画につ	の設置等、経済的負担を当たり前 飲み水の確保が出来る硬度低減化 設のために水道料金が値上げされ ります。そこで硬度低減化施設建 要望、硬度低減化の程度、水道料	k道料金とは別に飲み水の購入や軟水器 すのように受け入れてきた町民にとって、 と施設建設は大きな希望です。一方、建 れるかもしれないという大きな懸念もあ 書設検討委員会を立上げ、水道事業への 料金値上げの許容範囲、災害時の供給対 望をアンケート等の実施により把握する 解を伺います。	町	長
					の規定により1/2の国庫補助が	は、奄美群島振興開発特別措置法第1条 あるとのことで、その確保に向けて本町 犬や施設規模の計画、また国庫補助交付 か伺います。	町	長
					ると毎年大きな額を浪費している る老朽化した配水管路の更新にも	0万㎡を越えており、水道料金に換算することになります。その原因となっていも1/2の国庫補助が適用されるとのこフを増やしてでも管路の更新を急ぐべきけ。	町	長
2	髙田 豊繁	老朽化	ととともに、	っ園は、施設の 今後の職員確 女善を図る上か	自然ふれあい空間整備も必要であ	没本体とともに、グラウンド、駐車場、 あり、それ相当の用地確保が必要と考え	町	長
			早急なる統合 が今後の計画	合整備が求めら 近について		委員会から標高が高くかつ島の中心位置 所が望ましいとの意見のようですが見解	町	長

順位	質	問	者	質	問	事	項	要	日	質	問	の相	1 手
									各種法手続きや基本計画から実施計画 、なるべく用地を先行取得して計画的 が見解を伺います。	町			長
					崎公園公衆 いて	トイレ建	さ 設整備	(1) 赤崎公園公衆トイレは、築経過 ⁴ と洋式化への整備建替が必要と考;		町			長
				3 配つい	食サービス て	の業務見	し直しに	(1) 昨今の物価高騰や人件費上昇に 必要ではないかと考えますが見解る		町			長
					与論島観光 いて	ホテル解	译体整理		主へ要請し適切な対応措置を求める必	町			長
3	吉	田	勉		の魚貝類等			観光客の中にも、採捕目的での行	いるが、最近、組合員以外の方々や 為が多発しており、資源保護の観点か やパンフレット等での観光客への周知	町			長
					少動植物のの対応につ		香等、	種)等、断層を含む崖地や海岸周辺 また、最近研究者の調査研究によ	滅危惧種、南西諸島固有種、絶滅危惧 型に散在して確認することができます。 り、甲殻類を含む希少な生物も数多く るための情報収集や調査、保護条例等	町			長

順位	質	問	者	質	問	事	項	要	日	質	問	の	相	手
				島の <u>f</u>	指定有形民 生産・生活 舌用につい	用具」の		欠くことのできないものであり、	所有者と連携して定期的な現状把握 と思われるが、現在の状況及び今後の	教		育	-	長
								であり、所有者の同意を得て、現在	であるが件数が多いため、収納する倉 現在も台風被害の修理が進まない状況 生休館中の中央公民館に寄託的に収納 がら、町民への公開及び郷土学習等に	教		育	-	長
4	林	敏	沿 治	1 水道	道水の供給	対策		いないと思われます。一方、家庭や 軟水器などに石灰が詰まり、故障す	あり、飲み水としてあまり使用されて や飲食店においては給湯器、浄水器、 する等、日常生活に大きな支障をきた み水として供給できるよう、どう対策	町			-	臣
				2 水區	産業の振興	対策		待されます。そこで、水産業を持続 漁業再生支援交付金事業を活用して	大や地域の賑わいを創出する取組も期 売的産業として発展させるため、離島 て、魚介類の種苗放流や藻場造成を行 陸上繁殖漁業の研究開発や試験養殖な	町			-	臣

順位	質問者	質問	事 項	要	旨	質	問	<i>(</i>)	相手
5	大田 英勝	1 児童・生徒の対策について	不登校の現状と	(1) 先日、県教育委員会の2024年月 表により、「県内不登校最多5676 7年連続で最多を更新中とのことであ なっているのか。また、教育委員会を のような取組をしているのか。	人」との新聞報道があった。これは あるが、本町の不登校の現状はどう	教		育	長
		2 いじめの現状	と対策について	(1) 県内のいじめ認知件数は820件地に多い県数だったという。そこで、2つているのか。また、いじめ解消のたのか。	本町におけるいじめの現状はどうな	教		育	長
6	池田 理恵	1 多様性を認め 役になれる与論 て		(1) 本町では、子どもの発達に関する木りやすさや、学校・園・医療・福祉とまた、特性の有無にかかわらず、すべーシブな環境づくりも重要となってい制の現状と、インクルーシブ教育を持います。	の連携の強化が求められています。 べての子どもが共に学べるインクル います。そこで、発達支援の相談体	教		育	長
				(2) 高齢化が進む本町では、高齢者が対感じながら活動できる場づくりも非常意分野を活かした生きがい事業の新設との世代間交流の促進、読み聞かせ齢者の活躍の場づくりについて、町の	常に重要です。そこで、高齢者の得 役・拡充、子ども・若者・観光客な せ・手仕事指導・観光案内など、高	町			長

											741年				
Ji	頁	位	質	問	者	質	問	事	項	要	日	質	問	の 木	目 手
										(3) 与論町には、子ども、子育て世帯、	、高齢者、移住者、障がいのある方	町			長
										など、多様な町民が暮らしています。	。この多様性は町の大きな強みであ				
										る一方で、時代の変化により、町民	同士のつながりや理解が希薄になり				
										つつある状況も見られます。そこで、	、多様な背景を持つ町民がお互いを				
										理解し認め合えるよう、町としてどの	のように多様性の視点を施策へ反映				
										し、町民に広げていく取り組みを進む	めていくのか伺います。				